



Press Release

ロングリーチグループ

藤田一族の日本マクドナルドホールディングス株式 24.98%の売却に ソリューションを提供

【香港、東京、2005年7月27日】 ロングリーチグループは本日、日本マクドナルドを創業した藤田一族の日本マクドナルドホールディングス株式会社（以下、日本マクドナルドホールディングス、JASDAQ: 2702）株式売却の意向を受け、当該株式の発行済株式総数の 24.98%（33,210,000 株）を取得しましたので、お知らせいたします。今回の株式取得は、ロングリーチグループが管理する特別目的会社であるレイクビュー・リミテッド（ケイマン諸島）を通じて行われました。

日本マクドナルドの創業者である藤田氏の没後、藤田一族は保有する日本マクドナルドホールディングス株式の売却を希望していました。かかる要望に対し、ロングリーチグループはその金融専門力を最大限に活用しソリューションを提供しました。

ロングリーチグループのグループチェアマン兼取締役パートナーであるマーク・チバは今回の株式取得について以下のように述べています。「ロングリーチグループは、藤田一族に対して円滑な株式売却を可能とするソリューションを提供できたことを大変嬉しく思います。今後もロングリーチグループは、グローバルな人脈、日本及びアジア地域における深い理解力と高い案件遂行能力を活かし、様々な投資ソリューションを提供していきます」。

なお、本件においては、ロングリーチグループのアドバイザーボードの一人であり、昨年まで米国コカ・コーラ社の会長兼 CEO を務め、日本及びアジアの外食・食品・飲料業界に精通したダグラス・ダフト氏が重要な役割を果たしました。

創業一族は以下のように述べています。「今回、ロングリーチグループに提供いただいたソリューションは、藤田一族にとって望ましいものであったと考えております」。

日本マクドナルドホールディングスの代表取締役会長兼社長兼 CEO 原田泳幸氏は以下のように述べています。「今回の取引を歓迎いたします。弊社は株主の皆様による信任とご支援に対し深く感謝しております」。

###

報道関係者からのお問い合わせ

ギャビン・アンダーソン（服部、和田）

03-5404-0640



ロングリーチグループについて

ロングリーチグループは、日本及びアジアにおける独自の戦略的プライベート・エクイティ投資を目的に 2003 年 10 月に設立された投資会社です。ロングリーチグループは、グローバルな人脈と、地域に根ざした理解力および案件遂行能力を活かし、付加価値の高い投資案件を実現していきます。

ロングリーチグループには、ケイマン諸島を拠点とする投資ファンド、香港拠点のロングリーチグループ・リミテッド、そして、東京拠点の株式会社ロングリーチグループが含まれています。株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドのアドバイザーであるロングリーチグループ・リミテッドが投資案件の発掘調査を行うためのサポートをしています。

レイクビュー・リミテッドは日本マクドナルドホールディングス株式取得のために設立されたケイマン諸島を拠点とする特別目的会社です。

ロングリーチグループの主要メンバーは、マーク・チバ(グループチェアマン兼取締役パートナー、ロングリーチグループ)、三好康之及び吉沢正道(株式会社ロングリーチグループ 代表取締役兼パートナー)です。

アドバイザー・ボードのメンバーは、ダグラス・ダフト、宮内義彦、サンフォード・ロバートソン、サー・デビッド・スコリー、横山禎徳です。